学校番号	305

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	『明解 歴史総合』（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合としては、世界の中の日本の立場を正確にとらえることを意識してほしいと考えます。そのためには、何の文脈もなく知識を断片的に覚えるのではなく、様々な歴史的な出来事に関して「縦」と「横」のつながりを意識して学習してください。その際に大切になるのは人の営みによって発生する各事象に対して「なぜ？」という視点を持つことです。各事象に関する、因果関係や他事象との関連性に着目しながら、自ら「なぜ？」を考察していくことができるような資質の育成を意識してください。ステップアップコースでは、縦横により深く広く歴史事象について学びます。

ただ、単語を理解するのではなく点を線に、線を面にしていくことができるような想像力と創造力を育成していってほしいと考えます。

2　学習の到達目標

① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。
② 多角的・多面的な視点から世界の歴史・日本の歴史を捉え、近現代における我が国の立ち位置や国際社会の中の日本の在り方を考察し、共有し、課題設定を行うことによって、知識・技能だけではなく、プレゼンテーションなどを通して論理的に歴史を捉える技能・能力の定着と育成をすることをめざす。
③ 歴史史料や資料の読解・思考能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 また、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に自ら考え、共有し、外に向け説明する力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界の中の日本や歴史が示す課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解や他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料 絵画資料を読み解く	a:日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 b:資料や図版などから適切に情報を読みとり、時期や立場による書かれ方の違いなどを判断している。 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読みとった情報の意味や意義、特色などを整理し、表現している。 c:資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。 資料を読みとる際の注意点を整理し、学習への見通しを立てようとしている。	定期考査	定期考査 史料読解・共有	授業ワークシート ペアワーク発表
	第Ⅰ部　近代化と私たち	・近代化への胎動 ・欧米の市民革命と国民国家の形成 ・アジアの変容と日本の近代化 ・帝国主義の時代	a:各分野の諸資料やフランス人権宣言・アメリカ独立宣言などの諸史料を読み解きながら、歴史事象の背景やその先の出来事を理解しようとしている。 また、中国と日本とのつながり、アジアとヨーロッパとのつながりを明治維新・産業革命・帝国主義などの各視点から理解しようとしている。 b:近世の各地域の歴史（市民革命・明治維新や帝国主義など）を学ぶ際に、その分野の諸資料を読み解き、中国と日本、アジアとヨーロッパのつながり、両者のあり方・共通点や相違点・課題について考察している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 各分野の歴史的事象が、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント

2学期	第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦	a:第一次世界大戦後の世界と日本の政治的・経済的な歴史の流れや、各分野の諸資料・史料を読み解くことにより、世界が第二次世界大戦に至る流れを各視点から理解しようとしている。 また、第二次世界大戦後のドイツと日本の占領体制の違いや米・英・ソの国際的な対立、冷戦の構造への変化を体系的にとらえ、各分野の諸資料・史料を読み解くことにより、理解しようとしている。 b:資料から読み取れる各会議・条約の締結における各国の対応や立場の違いを、当該国の立場を考えながら考察している。 大正デモクラシーが、アメリカ合衆国の民主主義やロシア革命、社会主義政権の成立などの世界的な流れを受けて成長したことを考察している。 第二次世界大戦に向けた各国の流れや戦時下、戦後の新しい世界の在り方を資料から読み取れる部分から考察している。また、戦後のアメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の動向を結びつけたり、比較したりして、冷戦の表面化とその特徴を考察し、表現している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 各分野の歴史的事象が、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント

		・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a:「対立・協調」、「統合・分化」、「平等・格差」の各観点から、鉄道事業・移民問題・オリンピックなどに関する諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 b:「対立・協調」、「統合・分化」、「平等・格差」の各観点から、鉄道事業・移民問題・オリンピックなどに関するこれまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。 c:「対立・協調」、「統合・分化」、「平等・格差」の各観点に自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	確認テスト ワーク成果物	グループワーク	グループワーク プレゼンテーション レポート課題

3学期	第Ⅲ部　グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・多極化する世界 ・グローバル化と現代世界	a:冷戦下の米ソを中心とした世界のまとまり、第三世界や日本の発展と成長などの歴史の流れや、各分野の諸資料・風刺画や歴史史料を読み解くことにより、現代社会の世界構造の構築に至る流れを各視点から理解しようとしている。 また、冷戦後のアジアとアジアの中の日本の立ち位置、情報技術の発展による急速な世界の接近、現代に至る歴史的経緯を踏まえながら、現代社会の持つ課題や現状を理解しようとしている。 b:資料から読み取れる各分野における課題や現代社会の中の日本の立ち位置について考察している。 グラフや風刺画・挿絵などを通して冷戦下における米ソ・冷戦後の中ソ・第三世界や各地域の課題や構図を自ら課題を設定しながら考察している。 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察し、表現している。また、グラフを読みとったり、比較したりしながら、今後の日本社会の動向やこれからの社会が直面する課題や、その望ましい解決策について歴史的な類似事例を根拠として挙げながら考察し、表現している。 c:各分野の問いに対して、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 各分野の歴史的事象が、その後の時代にどのように変容するかなどの視点をもち、その後の学習につなげようとしている。また、過去の事象とのつながりを正確にとらえ、主体的に振り返ろうとしている。	定期考査 確認テスト ワークシート	定期考査 資料読解のワークシート 課題設定とペアワーク 個人発表	授業ワークシート パフォーマンス課題 課題プリント

		・現代的な諸課題の形成と展望	a:諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。 身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 b:事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について考察、構想し、表現している。 資料に対し、その時代や資料を記録したものの立場などを文脈に応じて分析し、資料の意義を考察している。 c:自身で問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。 分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自身の考えをより良いものに改善しようとしている。 より良い社会の実現を視野に歴史的な見方・考え方をいかそうとしている。	レポート ワークシート	レポート ペアワーク グループワーク プレゼンテーション	グループワーク 課題設定ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度